

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	7,434千円	2,344千円	3,123千円	0千円
	総人件費	4,872千円	6,317千円	6,264千円	
	総事業コスト	12,306千円	8,661千円	9,387千円	

部等名	課等名	係等名
都市計画部	総合交通政策課	交通政策係, 交通管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	19	自転車のまちづくり推進に要する経費

事務事業名	01	自転車のまちづくり推進事業			指標名	歩行者・自転車・自動車が共生できていると感じる割合				指標種別	成果指標	指標の概要	自転車施策に関するアンケート調査(5年に1度)・歩行者, 自転車, 自動車の共生に関する意識(共生できている割合)		
戦略プラン	6	1	交通移動体系の整備		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
	-	-	-	-	実績	52%	-	-	-	-	57%	57%			
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-	
	-	-	-	-	改善目標	自転車の安全利用を啓発するため, 関係機関との連携を強化するとともに, 日常的な普及広報活動に力を入れていく。				改善目標	比較的高い評価を得ている安全利用教育の取組を維持しながら, 茨城県をはじめとする関係機関との連携のさらなる充実, また自転車活用推進法が成立したことなどを踏まえ, 自転車走行環境整備のための方向性を整理する。				
個別計画	つくば市自転車安全利用促進計画				事業計画	・自転車安全利用に関するキャンペーン等を四半期ごとに実施する。 ・関係機関との連携を図るネットワークの構築を図る。 ・日常的に自転車の安全利用を推進する市民を育成する。				事業計画	・イベント, パンフレット, webサイトなどを通じて, 自転車のまちづくりの周知・PRを年間を通して実施する。 ・自転車通行環境整備などつくば市自転車安全利用促進計画アクションプランに掲げられた全12施策の推進調整及び進捗管理を実施する。 ・自転車のまちづくり推進委員会を2回開催し, 自転車のまちづくりの各施策や実績評価に意見を反映させる。 ・茨城県や関係市町村と連携してつくば霞ヶ浦りんりんロードのサイクリング環境整備の取組を進める。				
根拠法令等	「つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」(平成26年4月, つくば市)					活動実績	・交通安全キャンペーンやまつりつくばなどのイベントを通じて啓発を実施 ・自転車のまちづくり推進委員会を開催し, 事業評価や課題等の検討を実施 ・大学・高校・小中学校が実践する安全利用活動の周知を実施 ・筑波学院大学と連携して市中心部の通行環境のパトロールを開始 ・茨城県と共同でつくば霞ヶ浦りんりんロードのPRや, サポートステーション等の設置を実施				上半期活動実績	-			
事業分類	A 任意的事業				成果		筑波学院大学との連携によるパトロール開始をはじめとして, 大学・高校・小中学校との安全利用面での連携を深めることができた。またつくば霞ヶ浦りんりんロードのPRを通じて茨城県との連携を深めることができた。					上半期成果	-		
執行体制	一部委託					課題	自転車活用推進法の成立などを踏まえて, 今後は自転車通行帯整備などへの対応を充実させる必要がある。				課題		-		
事業の目的	環境に優しく, 健康増進にもつながる自転車を市内の重要な交通手段の一つとして位置づけ, クルマから自転車への転換を推進するため。				事業の概要		自転車の安全で適正な利用を促すことを重点に, つくば市自転車安全利用促進計画に基づく取組を進める。					H30年度当初積算根拠	-		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-	H30年度の方向性
	H29環境関連性	-	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している	評価	有効性	-					
					評価	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-					
					総合評価	A: 成果を維持して継続実施		総合評価	-						

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	7,434千円	2,344千円	3,123千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	1,196千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	6,238千円	2,344千円	3,123千円	0千円
人件費(B)	4,872千円	6,317千円	6,264千円	
正職員	従事割合	0.60人	0.80人	0.80人
内訳	時間外勤務	155.00時間	140.00時間	120.00時間
	臨時職員等	無	無	無
	事業コスト(A+B)	12,306千円	8,661千円	9,387千円

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	343,076千円	409,840千円	438,916千円	0千円
	総人件費	17,166千円	26,364千円	22,862千円	
	総事業コスト	360,242千円	436,204千円	461,778千円	

部等名	課等名	係等名
都市計画部	総合交通政策課	交通政策係, 交通管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	01	15	公共交通対策に要する経費

事務事業名	01	コミュニティバス「つくバス」運行事業			指標名	コミュニティバス利用者数(1便当たり)				指標種別	成果指標	指標の概要	コミュニティバス「つくバス」の1便当たりの利用者数(全路線累計)		
戦略プラン	6	1	交通移動体系の整備		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
総合戦略	1	1	交通移動体系の整備		実績	7.4人/便	7.8人/便	8.2人/便					その他の指標	-	
個別計画	つくば市地域公共交通網形成計画				改善目標	H28年度 引き続き利用者数を増加させること及びつくバス運行サービスの持続可能性を高めること。				H29年度 ・利用者の要望や意見を踏まえながら,新たな運行ルートの検討を行う。・利便性を向上させるサービスを検討し,提供する。					
根拠法令等	-				事業計画	安全な運行に努めるとともに,利用者の利便性の向上を図るために,バスロケーションシステム及び交通系ICカードの導入に取り組み,利用促進につなげる。				安全な運行に努めるとともに,利用者の利便性を向上させ,持続可能性を高め,「誰もが移動しやすいまち」を目指し,交通体系全体の改編について検討する。					
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	停留所の新設や移設,自転車ラックの設置などにより,安全で快適なバス待ち環境を提供した。10月からはバスロケーションシステム及び交通系ICカードを導入した。				上半期活動実績					
執行体制	補助金(直接)				成果	利用者の利便性を向上させた。				上半期成果					
事業の目的	市内公共交通網の幹線として,路線バスを補完し,市内各地の核となる拠点と鉄道駅を結び,直行的・速達性を確保した高頻度運行による鉄道端末手段としての役割を担うため。				課題	引き続き利用者数の増加に努めるとともに,新たなルートを含めた路線の改編が課題である。				課題					
事業の概要	7路線(北部シャトル,小田シャトル,作岡シャトル,吉沼シャトル,谷田部シャトル,南部シャトル,自由ヶ丘シャトル)において,1日334便,年間365日コミュニティバスを運行する。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-	
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	有効性	高:成果が向上(高水準を維持)している		有効性	-		H30年度の方向性				-
	H29環境関連性	-	-	-	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-						
					総合評価	A:成果を維持して継続実施		総合評価	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	343,076千円	409,840千円	438,916千円	0千円
	総人件費	17,166千円	26,364千円	22,862千円	
	総事業コスト	360,242千円	436,204千円	461,778千円	

部等名	課等名	係等名
都市計画部	総合交通政策課	交通政策係, 交通管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	01	15	公共交通対策に要する経費

事務事業名	02	デマンド型交通「つくたく」運行事業			指標名	デマンド交通利用者数				指標種別	成果指標			指標の概要	デマンド型交通「つくたく」の年間利用者数(全地区累計)		
戦略プラン	6	1	交通移動体系の整備		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
総合戦略	1	1	交通移動体系の整備		実績	50,865人	48,544人	50,811人	-								
個別計画	つくば市地域公共交通網形成計画				改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-		
根拠法令等	-					事業計画	平成28年度以降のつくたくサービスの運行及びエリア設定の在り方について検討をすることで、利用者数を増加させる。				改善目標 ・要望や意見を反映しながら、運行エリアや料金体系の改編について検討を行う。 ・利便性を向上させるサービスを検討し、提供する。						
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	事業計画				事業計画				内訳	-		
執行体制	一部委託					利用促進のために、つくたくに関する普及広報活動を実施する。また、平成29年度以降のつくたくの在り方について整理し、施策の方向性を定める。				予約やキャンセルの入電時間を調整することにより、一人でも多くの利用者増を図る。予約センターの電話応答率の向上及び運行の効率性を向上させるため、つくたくシステムの入替えを実施する。また、引き続き、利用促進を図るため、広報活動を充実させる。							
事業の目的	市内公共交通網の幹線である路線バス等を補完する支線として、バスへの接続を担うとともに、交通弱者をはじめとした市民の日常生活を支える交通手段を確保するため。				成果	上半期活動実績				上半期成果				H30年度当初積算根拠	-		
事業の概要	5地区(筑波地区, 大穂・豊里地区, 桜地区, 谷田部地区, 荃崎地区)において、平日(年末年始を除く)の9～16時台にデマンド型交通を運行する。					キャンセル待ちサービス等のきめ細かな対応により、利用者は増加傾向に転じた。				-							
ISO 14001	H28環境関連性	-			課題	課題				-				H30年度の方向性	-	理由	-
	H29環境関連性	-				運行エリアや料金体系の見直しなど、多くの要望や意見があるなか、新たな検討が必要となっている。				-							
					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-					
					評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-						
						効率性	低:費用対効果が低下(低水準を維持)している			効率性	-						
						総合評価	D:費用対効果を向上させる必要有り			総合評価	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	343,076千円	409,840千円	438,916千円	0千円
	総人件費	17,166千円	26,364千円	22,862千円	
	総事業コスト	360,242千円	436,204千円	461,778千円	

部等名	課等名	係等名
都市計画部	総合交通政策課	交通政策係, 交通管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	01	15	公共交通対策に要する経費

事務事業名	03	地域公共交通網形成計画進行管理業務	指標名	施策の進捗状況把握率				指標種別	成果指標	指標の概要	地域公共交通網形成計画と関連する指標9項目の達成割合							
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度						
戦略プラン	-	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%								
総合戦略	-	-	-	-	-	11.1%	-	-	-	-								
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
個別計画	つくば市地域公共交通網形成計画		改善目標	H28年度 「つくば市地域公共交通網形成計画」を推進する。				改善目標	H29年度 交通体系全体及びサービス内容の見直しを図り, 交通体系の再編を図る。									
根拠法令等	「交通政策基本法」 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」		事業計画	・市民アンケート等を実施し, 「つくば市地域公共交通網形成計画」の点検・評価を実施する。 ・つくば市及び近隣自治体(下妻市, 桜川市, 筑西市等)と地域公共交通の広域連携に向けた調査等を実施する。 ・公共交通活性化協議会の運営, 都市交通センターとの連携, 空港利用促進協議会等への参加協力を図る。				事業計画	市民の意見を聴取するとともに, アンケート調査や利用実績を分析し, 交通体系の再編案を策定する。									
事業分類	C 義務的事業		活動実績	・市民アンケートを実施し, 「つくば市地域公共交通網形成計画」の点検・評価を実施した。 ・つくば市及び近隣自治体と地域公共交通の広域連携に向けた調査を実施し, 広域的な交通ネットワークのあり方を整理した。				上半期活動実績	-									
執行体制	一部委託		成果	調査等を実施し, 交通体系及びサービスについて検証及び検討をすることができた。				上半期成果	-									
事業の目的	つくば総合都市交通体計画系及びつくば市のまちづくりの方針と連携し, 利便性が高く, 持続可能な公共交通網の実現を図るため。		課題	交通体系の再編, サービス内容の見直しを実施していく必要がある。				課題	-									
事業の概要	つくば市公共交通網形成計画に掲げられた施策を着実に実行し, 目標を達成していくために, 交通政策の企画・調整及びアンケート調査等による計画全体の目標達成状況の点検, 評価, 改善等を行う。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	-							
ISO 14001	H28環境関連性	-	有効性	中: 適切な成果が得られている				有効性	-									
	H29環境関連性	-	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-									
		-	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-									
			内訳	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業費(A)			22,894千円	28,585千円	13,249千円	0千円			
				国庫支出金	1,900千円	10,000千円	0千円	0千円	内訳			0千円	0千円	0千円	0千円			
				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	内訳			0千円	0千円	0千円	0千円			
				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	内訳			0千円	0千円	0千円	0千円			
				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	内訳			0千円	0千円	0千円	0千円			
				一般財源	20,994千円	18,585千円	13,249千円	0千円	内訳			20,994千円	18,585千円	13,249千円	0千円			
				人件費(B)	-	6,718千円	8,363千円	-	内訳			-	6,718千円	8,363千円	-			
				正職員	0.30人	0.80人	1.00人	-	内訳			0.30人	0.80人	1.00人	-			
				従事割合	70.00時間	290.00時間	350.00時間	-	内訳			70.00時間	290.00時間	350.00時間	-			
				時間外勤務	-	-	-	-	内訳			-	-	-	-			
				臨時職員等	無	無	有	-	内訳			無	無	有	-			
				事業コスト(A+B)	22,894千円	35,303千円	21,612千円	-	内訳			22,894千円	35,303千円	21,612千円	-			
				H30年度当初積算根拠	-				H30年度当初積算根拠				-					
				H30年度の方向性	-	理由	-	H30年度の方向性				-	理由	-	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	290千円	140千円	277千円	0千円
	総人件費	3,189千円	3,709千円	3,709千円	
	総事業コスト	3,479千円	3,849千円	3,986千円	

部等名	課等名	係等名
都市計画部	総合交通政策課	交通管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	11	12	定住促進に要する経費

事務事業名	01	つくばエクスプレス利便性向上事業			指標名	要望活動回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	要望活動の回数						
戦略プラン	6	1	交通移動体系の整備		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
総合戦略	-	-	-	-	実績	4回	6回	5回	-												
個別計画	-					H28年度				H29年度				その他の指標	-						
根拠法令等	-					改善目標	-				改善目標	-				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類	A	任意的事業				事業計画	・つくばエクスプレス東京駅延伸など利便性向上に関する要望活動を行う。 ・各協議会において、沿線区市が同一歩調となるように調整を進めていく。				事業計画	・つくばエクスプレス東京駅延伸など利便性向上に関する要望活動を行う。 ・各協議会において、沿線区市が同一歩調となるように調整を進めていく。				事業費(A)	290千円	140千円	277千円	0千円	
執行体制	職員のみ				活動実績	・つくばエクスプレス東京駅延伸など利便性向上に関する要望活動を5回実施した。 ・各協議会において、勉強会・意見交換会を実施した。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	つくばエクスプレス利用者の利便性向上のため。				成果	交通政策審議会答申において、常磐新線(TX)の延伸(秋葉原～東京(新東京))が国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクトと示された。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	沿線区市と連携し、つくばエクスプレス利便性向上のための要望活動や勉強会等を行う。				課題	-				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況			-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
	H29環境関連性	-			有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-				一般財源	290千円	140千円	277千円	0千円		
					効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				人件費(B)	3,189千円	3,709千円	3,709千円			
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				正職員	従事割合	0.40人	0.50人	0.50人		
															時間外勤務	81.00時間	17.00時間	17.00時間			
															臨時職員等	無	無	無			
															事業コスト(A+B)	3,479千円	3,849千円	3,986千円			
															H30年度当初積算根拠	-					
															H30年度の方向性	-	理由	-			